



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03) 3231-6811  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,158	8.9	2,087	34.2	2,239	35.6	1,283	33.8
24年3月期第2四半期	24,025	7.1	1,556	△49.3	1,652	△47.7	959	△45.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	45 36	—
24年3月期第2四半期	33 90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	89,871	76,569	85.2
24年3月期	87,734	75,832	86.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 76,569百万円 24年3月期 75,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
25年3月期	—	20 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,600	8.0	2,500	△39.8	2,700	△37.8	1,500	△42.6	53 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2013年3月期第2四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	28,800,000株	24年3月期	28,800,000株
25年3月期2Q	498,904株	24年3月期	498,701株
25年3月期2Q	28,301,224株	24年3月期2Q	28,301,676株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(4) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の売上高は、本年4月に実施された薬価改定の影響を受ける中、26,158百万円と前年同期に比べ2,132百万円(8.9%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は5,896百万円と前年同期に比べ1,276百万円(27.6%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は5,671百万円と前年同期に比べ946百万円(20.0%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は11,202百万円と前年同期に比べ1,244百万円(12.5%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により12,868百万円と前年同期に比べ357百万円(2.9%)増加しました。

以上の結果、営業利益は2,087百万円と前年同期に比べ531百万円(34.2%)増加し、経常利益は2,239百万円と前年同期に比べ587百万円(35.6%)増加しました。四半期純利益につきましては1,283百万円と前年同期に比べ324百万円(33.8%)増加しました。

なお、当社は、2012年8月28日に、日本たばこ産業株式会社(以下「JT」)との間で、JTが2012年度中に日本国内における製造販売承認申請を予定している、新規抗HIV薬「JTK-303(elvitegravir)を含む配合錠」について、承認取得後、当社が日本国内において独占的に販売する契約を締結しました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、89,871百万円と前事業年度末に比べ2,136百万円(2.4%)増加しました。これは、現金及び預金が1,363百万円減少しましたが、新規抗HIV薬に係る販売権の取得等により、投資その他の資産に含まれる長期前払費用が3,455百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、13,301百万円と前事業年度末に比べ1,399百万円(11.8%)増加しました。これは、未払法人税等が743百万円減少しましたが、主に新規抗HIV薬に係る販売権の取得に伴う契約一時金が未払いのため、流動負債のその他に含まれる未払金が2,584百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、76,569百万円と前事業年度末に比べ737百万円(1.0%)増加しました。これは、主に利益剰余金が717百万円増加したことによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、17,092百万円と前事業年度末に比べ289百万円(1.7%)減少しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が2,211百万円、減価償却費が504百万円、未払金の増加額が2,487百万円となりましたが、長期前払費用の増加額が3,455百万円、法人税等の支払額が1,660百万円となったこと等により157百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は361百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出が22,000百万円、投資有価証券の取得による支出が999百万円、有形固定資産の取得による支出が782百万円となりましたが、定期預金の払戻による収入が23,000百万円、有価証券の売却及び償還による収入が1,300百万円となったこと等により442百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は1,662百万円の収入)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が566百万円となったことにより574百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は578百万円の支出)

(3) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は3,686百万円であります。

なお、スギ花粉症に対する舌下免疫(減感作)療法薬「T0-194SL」につきまして、本年9月14日に国内第Ⅲ相臨床試験の速報結果を発表しております。速報結果では、有効性の主要評価項目である「総合鼻症状薬物スコア」が、T0-194SL投与群においてプラセボ投与群に比べ統計学的に有意に低下し、T0-194SL舌下投与によるスギ花粉症症状の軽減が確認されております。また、安全性及び忍容性に関して、特に問題は認められておりません。当社は、この結果を受け、2012年度中の製造販売承認申請に向けて準備を進めてまいります。

また、ALK-Abello A/S(本社:デンマーク)から導入しましたダニを抗原とするアレルギー疾患を対象とした免疫(減感作)療法薬につきまして、舌下錠「T0-203」については国内第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験、注射剤「T0-204」については国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

(4) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、前回発表(平成24年4月26日「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の当該予想数値を修正しております。

売上高は、「レミッチカプセル」等の販売状況が計画を上回って推移していることにより、前回発表予想を上回る見通しとなりました。また、利益面におきましても、売上高の増加により営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を上回る見通しとなりました。

現時点における通期の業績予想数値は、売上高は526億円(対前回予想1.3%増)、営業利益は25億円(対前回予想19.0%増)、経常利益は27億円(対前回予想22.7%増)、当期純利益は15億円(対前回予想25.0%増)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,106	23,742
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	6,276	6,349
受取手形及び売掛金	19,580	19,954
有価証券	11,200	11,508
商品及び製品	4,271	3,316
仕掛品	440	489
原材料及び貯蔵品	1,631	1,851
その他	1,846	1,837
流動資産合計	70,352	69,050
固定資産		
有形固定資産	5,297	5,762
無形固定資産	704	695
投資その他の資産	11,380	14,363
固定資産合計	17,382	20,820
資産合計	87,734	89,871
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,717	4,761
未払法人税等	1,706	962
賞与引当金	1,156	1,206
役員賞与引当金	59	26
返品調整引当金	2	0
その他	3,588	5,756
流動負債合計	11,231	12,714
固定負債		
退職給付引当金	161	95
その他	509	491
固定負債合計	670	587
負債合計	11,902	13,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	64,876	65,594
自己株式	△857	△858
株主資本合計	75,624	76,342
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208	227
評価・換算差額等合計	208	227
純資産合計	75,832	76,569
負債純資産合計	87,734	89,871

## (2) 四半期損益計算書

## 【第2四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	24,025	26,158
売上原価	9,958	11,202
売上総利益	14,067	14,956
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,031	1,792
給料及び手当	2,251	2,292
賞与引当金繰入額	1,007	1,014
研究開発費	2,761	3,686
その他	4,460	4,083
販売費及び一般管理費合計	12,511	12,868
営業利益	1,556	2,087
営業外収益		
受取利息	58	56
受取配当金	15	57
為替差益	8	21
その他	14	19
営業外収益合計	97	155
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	2
営業外費用合計	1	3
経常利益	1,652	2,239
特別利益		
投資有価証券売却益	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
固定資産除却損	2	20
ゴルフ会員権評価損	—	7
災害による損失	59	—
特別損失合計	62	28
税引前四半期純利益	1,604	2,211
法人税等	644	927
四半期純利益	959	1,283



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,604	2,211
減価償却費	584	504
受取利息及び受取配当金	△74	△114
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	1	20
売上債権の増減額(△は増加)	△651	△373
たな卸資産の増減額(△は増加)	△722	684
仕入債務の増減額(△は減少)	760	44
未払金の増減額(△は減少)	△9	2,487
長期前払費用の増減額(△は増加)	97	△3,455
その他	△292	△644
小計	1,298	1,365
利息及び配当金の受取額	75	138
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,011	△1,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	361	△157
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△23,000	△22,000
定期預金の払戻による収入	11,500	23,000
有価証券の取得による支出	△2,105	—
有価証券の売却及び償還による収入	18,987	1,300
有形固定資産の取得による支出	△225	△782
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△101	△99
投資有価証券の取得による支出	△3,410	△999
投資有価証券の売却及び償還による収入	17	—
その他	△0	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,662	442
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△566	△566
リース債務の返済による支出	△12	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△578	△574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,422	△289
現金及び現金同等物の期首残高	12,344	17,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,767	17,092

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期会計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

# 2013年3月期 第2四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
II 2013年3月期 第2四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別・領域別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.6
⑤ 設備投資の状況	P.7
⑥ 非資金項目	P.7
⑦ 研究開発の状況	P.7
III 2013年3月期 業績予想	P.8
① 損益計算書	P.8
② 製商品別・領域別売上高	P.10
③ 設備投資の状況	P.11
④ 非資金項目	P.11
⑤ 配当	P.11
【予想数値に関する注意事項】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2012年10月29日

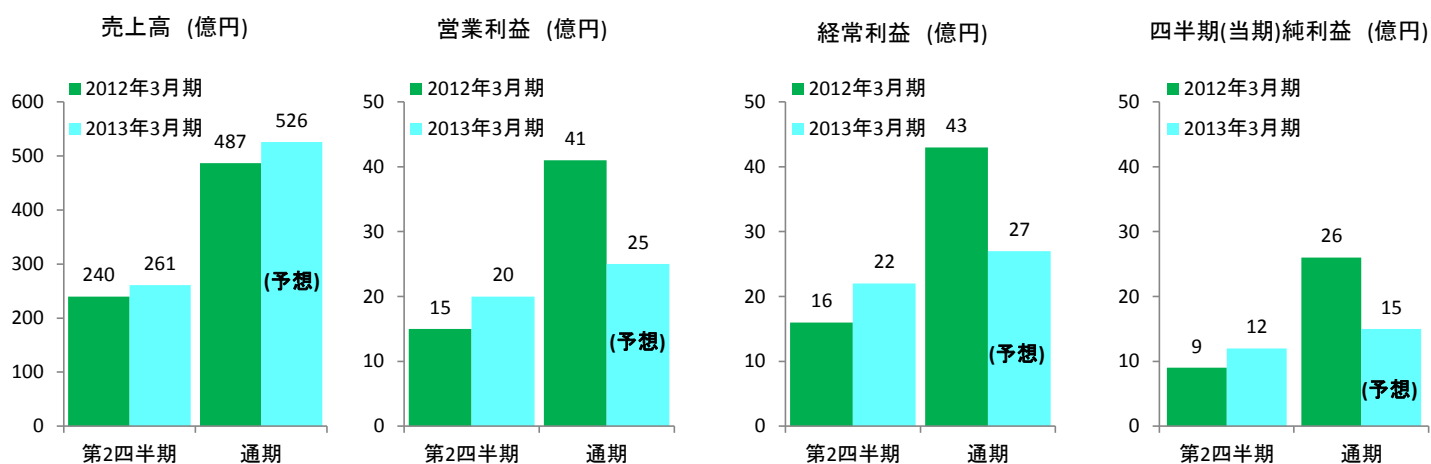


鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

(単位:百万円)	2012年3月期 第2四半期 A	2013年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	24,025	26,158	2,132	8.9	48,717	52,600	49.7
営業利益	1,556	2,087	531	34.2	4,153	2,500	83.5
経常利益	1,652	2,239	587	35.6	4,338	2,700	82.9
四半期(当期)純利益	959	1,283	324	33.8	2,611	1,500	85.6
<b>(参考)</b>							
研究開発費	2,761	3,686	924	33.5	4,631	8,010	46.0
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円)	33.90	45.36	11.46	92.27	53.00	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%)	1.3	1.7	0.4	3.5	-	
総資産経常利益率	(%)	1.9	2.5	0.6	5.0	-	
売上高営業利益率	(%)	6.5	8.0	1.5	8.5	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%)	1.1	1.4	0.3	3.0	-	



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2012年3月期 A	2013年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	87,734	89,871	2,136	2.4
純資産	75,832	76,569	737	1.0
自己資本比率	(%)	86.4	85.2	△1.2
1株当たり純資産(BPS)	(円)	2,679.48	2,705.54	26.06

## Ⅱ 2013年3月期 第2四半期実績

### ① 四半期損益計算書

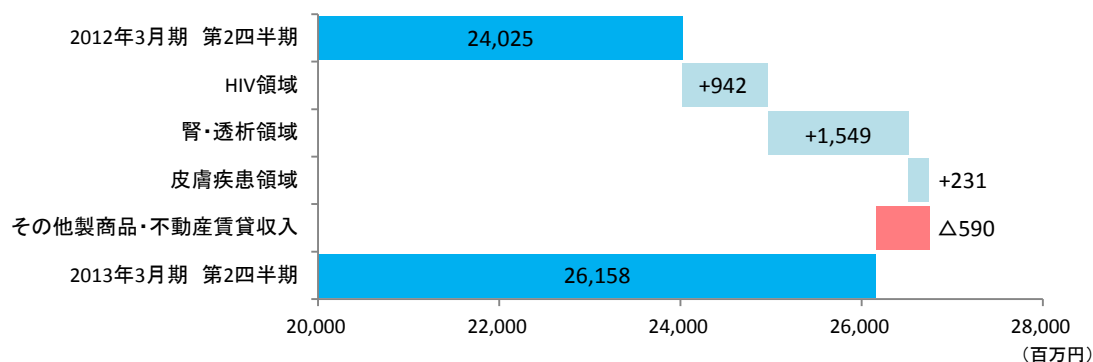
(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期 A	第2四半期 B		
売上高	24,025	26,158	2,132	8.9
製商品売上高	23,911	26,044	2,133	8.9
HIV領域	4,981	5,923	942	18.9
腎・透析領域	5,304	6,854	1,549	29.2
皮膚疾患領域	5,763	5,995	231	4.0
その他	7,861	7,271	△590	△7.5
不動産賃貸収入	114	114	△0	△0.2
売上原価	9,958	11,202	1,244	12.5
製商品売上原価	9,925	11,172	1,246	12.6
不動産賃貸原価	32	30	△1	△5.9
売上総利益	14,067	14,956	888	6.3
販売費及び一般管理費	12,511	12,868	357	2.9
販管費(研究開発費除く)	9,749	9,182	△567	△5.8
研究開発費	2,761	3,686	924	33.5
営業利益	1,556	2,087	531	34.2
営業外収益	97	155	57	—
営業外費用	1	3	1	—
経常利益	1,652	2,239	587	35.6
特別利益	14	—	△14	—
特別損失	62	28	△33	—
税引前四半期純利益	1,604	2,211	606	37.8
法人税等	644	927	282	43.8
四半期純利益	959	1,283	324	33.8

### (参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2012年3月期	2013年3月期	増減
	第2四半期 A	第2四半期 B	
売上原価	41.4	42.8	1.4
販売費及び一般管理費	52.1	49.2	△2.9
研究開発費	11.5	14.1	2.6
営業利益	6.5	8.0	1.5
経常利益	6.9	8.6	1.7
四半期純利益	4.0	4.9	0.9

## 【対前年同期実績増減要因】

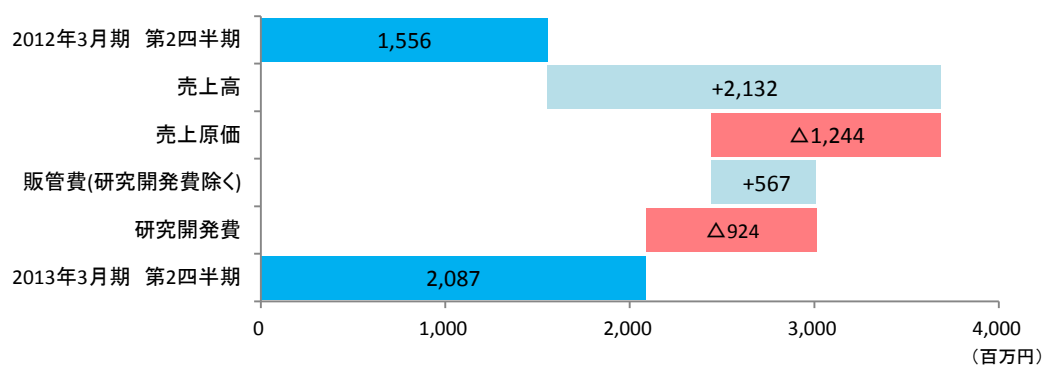
### 売上高（26,158百万円 対前四半期+2,132百万円）



#### 主な増減要因

HIV領域	: ツルバダ配合錠	+ 946百万円
腎・透析領域	: レミッチカプセル	+ 1,276百万円
	: ケイキサレート	+ 272百万円
※詳細はP4「② 製商品別・領域別売上高」を参照		

### 営業利益（2,087百万円 対前四半期+531百万円）



#### 主な増減要因

売上原価	: 売上高の増加
販管費(研究開発費除く)	: 消耗品費、販売促進費の減少
研究開発費	: 臨床試験費用(TO-203)の増加

### 経常利益（2,239百万円 対前四半期+587百万円）

特記事項：特になし

### 四半期純利益（1,283百万円 対前四半期+324百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別・領域別売上高

a. 製商品別売上高

(単位:百万円)	2012年3月期 第2四半期 A	2013年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	23,911	26,044	2,133	8.9
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]	4,619	5,896	1,276	27.6
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]	4,724	5,671	946	20.0
アンテベート ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	3,291	3,403	112	3.4
注射用フサン ※ 蛋白分解酵素阻害剤 [その他]	2,586	2,241	△344	△13.3
ユリノーム錠 ※ 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [その他]	1,648	1,443	△205	△12.4
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 [皮膚疾患領域]	908	966	58	6.4
ケイキサレート ※ 高カルシウム血症改善剤 [腎・透析領域]	685	957	272	39.8
ゼフナート 抗真菌薬 [皮膚疾患領域]	872	930	57	6.6
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤) [その他]	821	900	78	9.6
ロコイド ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	690	694	4	0.6
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤 [その他]	590	636	45	7.8
その他製商品	2,471	2,302	△169	△6.8

※ 自社品

b. 領域別売上高

(単位:百万円)	2012年3月期 第2四半期 A	2013年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	23,911	26,044	2,133	8.9
HIV領域 (ツルバダ配合錠、その他HIV治療薬)	4,981	5,923	942	18.9
腎・透析領域 (レミッチカプセル、ケイキサレート)	5,304	6,854	1,549	29.2
皮膚疾患領域 (アンテベート、ドボネックス軟膏、ゼフナート、ロコイド)	5,763	5,995	231	4.0
その他 (注射用フサン、ユリノーム錠、ビオスリー、マグセント、その他製商品)	7,861	7,271	△590	△7.5

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2012年3月期 第2四半期 A	2013年3月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	9,901	9,739	△161	△1.6
自社品比率 (%)	41.4	37.4	△4.0	-

### ③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A	構成比 (%) (当四半期)
	A	第2四半期 B			
流動資産	70,352	69,050	△1,301	△1.8	76.8
現金及び預金	25,106	23,742	△1,363		
CMS預託金 ※	6,276	6,349	73		
受取手形及び売掛金	19,580	19,954	373		
有価証券	11,200	11,508	308		
たな卸資産	6,342	5,657	△684		
その他	1,846	1,837	△8		
固定資産	17,382	20,820	3,438	19.8	23.2
有形固定資産	5,297	5,762	464		
無形固定資産	704	695	△9		
投資その他の資産	11,380	14,363	2,982		
投資有価証券	6,392	5,790	△601		
長期前払費用	2,750	6,206	3,455		
その他	2,238	2,366	128		
資産合計	87,734	89,871	2,136	2.4	100.0
流動負債	11,231	12,714	1,483	13.2	14.1
買掛金	4,717	4,761	44		
未払金	2,447	5,032	2,584		
未払法人税等	1,706	962	△743		
賞与引当金	1,156	1,206	49		
その他	1,202	751	△450		
固定負債	670	587	△83	△12.5	0.7
負債合計	11,902	13,301	1,399	11.8	14.8
株主資本	75,624	76,342	717	0.9	84.9
評価・換算差額等	208	227	19	9.4	0.3
純資産合計	75,832	76,569	737	1.0	85.2
負債純資産合計	87,734	89,871	2,136	2.4	100.0

※ 「CMS (キャッシュ・マネージメント・システム) 預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

#### 主な増減要因

##### (流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の増加による増加
- 有価証券 : 投資有価証券からの振替による増加、債券の償還による減少
- たな卸資産 : 商品及び製品在庫の減少

##### (固定資産)

- 有形固定資産 : 製造設備への投資による増加
- 投資有価証券 : 有価証券への振替による減少、債券の取得による増加
- 長期前払費用 : 新規抗HIV薬に係る販売権の取得等による増加

##### (流動負債)

- 未払金 : 新規抗HIV薬に係る販売権の取得による増加
- 未払法人税等 : 法人税等の支払による減少

##### (純資産)

- 株主資本 : 四半期純利益による増加、配当金の支払による減少



④ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2012年3月期 第2四半期 A	2013年3月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
税引前四半期純利益	1,604	2,211	606	
減価償却費	584	504	△80	
売上債権の増減額(△は増加)	△651	△373	277	
たな卸資産の増減額(△は増加)	△722	684	1,406	
仕入債務の増減額(△は減少)	760	44	△716	
未払金の増減額(△は減少)	△9	2,487	2,497	
長期前払費用の増減額(△は増加)	97	△3,455	△3,553	
法人税等の支払額	△1,011	△1,660	△649	
その他	△289	△599	△309	
営業活動によるキャッシュ・フロー	361	△157	△518	△143.6
有形固定資産の取得による支出	△225	△782	△556	
無形固定資産の取得による支出	△101	△99	1	
その他	1,989	1,323	△665	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,662	442	△1,220	△73.4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△578	△574	4	△0.7
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	-	22	△100.0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,422	△289	△1,712	△120.4
現金及び現金同等物の期首残高	12,344	17,382	5,038	40.8
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,767	17,092	3,325	24.2

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

主な増減要因

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

未払金の増減額 : 新規抗HIV薬に係る販売権の取得による増加  
 長期前払費用の増減額 : 新規抗HIV薬に係る販売権の取得等による増加

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出 : 製造設備への投資による増加

### ⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期 A	第2四半期 B		
設備投資額	356	981	624	175.2
有形固定資産	281	892	611	217.1
無形固定資産	75	88	13	18.4

#### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

### ⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期 A	第2四半期 B		
減価償却費	584	504	△80	△13.7
長期前払費用償却費	333	295	△37	△11.4

### ⑦ 研究開発の状況

開発番号	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>腎・透析領域</b>								
JTT-751	高リン血症	経口剤			Phase III	※		・ケルックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発
<b>アレルギー領域</b>								
TO-194SL	スギ花粉症 (免疫 (減感作) 療法薬)	舌下錠			Phase III	※		・自社開発
TO-203	ダニを抗原とするアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (免疫 (減感作) 療法薬)	舌下錠			Phase II / III			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-204	ダニを抗原とするアレルギー疾患 (喘息およびアレルギー性鼻炎) (免疫 (減感作) 療法薬)	注射剤			Phase III			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発

※ JTT-751、TO-194SLにつきましては、2012年度中の製造販売承認申請を目指しております。

### Ⅲ 2013年3月期 業績予想

#### ① 損益計算書

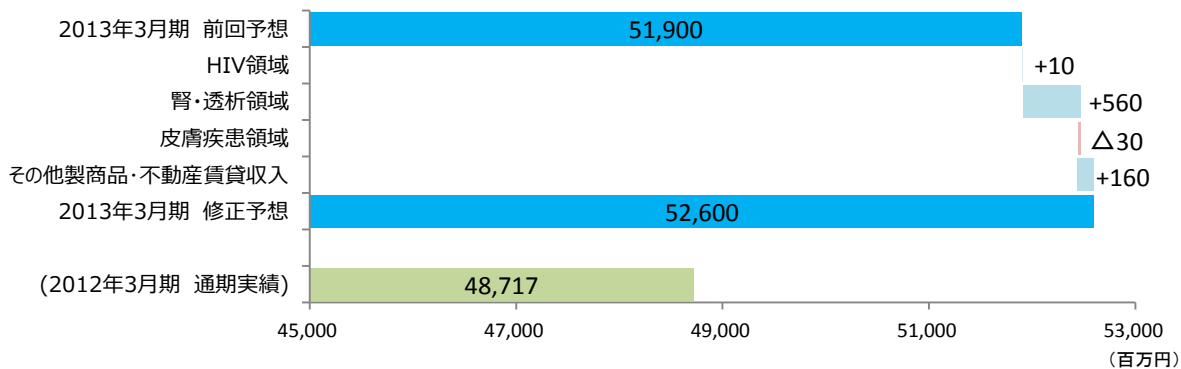
(単位:百万円)	2013年3月期	2013年3月期	修正額	2012年3月期	増減額	増減率 (%)
	前回予想 A	修正予想 B		通期実績 C		
売上高	51,900	52,600	700	48,717	3,882	8.0
製商品売上高	51,680	52,380	700	48,489	3,890	8.0
HIV領域	12,230	12,240	10	10,474	1,765	16.9
腎・透析領域	13,800	14,360	560	11,276	3,083	27.3
皮膚疾患領域	11,360	11,330	△30	11,139	190	1.7
その他	14,290	14,450	160	15,599	△1,149	△7.4
不動産賃貸収入	220	220	0	228	△8	△3.7
売上原価	22,700	23,000	300	20,539	2,460	12.0
売上総利益	29,200	29,600	400	28,178	1,421	5.0
販売費及び一般管理費	27,100	27,100	0	24,024	3,075	12.8
販管費(研究開発費除く)	19,143	19,090	△53	19,392	△302	△1.6
研究開発費	7,957	8,010	53	4,631	3,378	72.9
営業利益	2,100	2,500	400	4,153	△1,653	△39.8
経常利益	2,200	2,700	500	4,338	△1,638	△37.8
当期純利益	1,200	1,500	300	2,611	△1,111	△42.6

#### (参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2013年3月期	2013年3月期	増減	2012年3月期	増減
	前回予想 A	修正予想 B		通期実績 C	
売上原価	43.7	43.7	0.0	42.2	1.5
販売費及び一般管理費	52.3	51.5	△0.8	49.3	2.2
研究開発費	15.3	15.2	△0.1	9.5	5.7
営業利益	4.0	4.8	0.8	8.5	△3.7
経常利益	4.2	5.1	0.9	8.9	△3.8
当期純利益	2.3	2.9	0.6	5.4	△2.5

**【2013年3月期 対前回予想増減要因】**

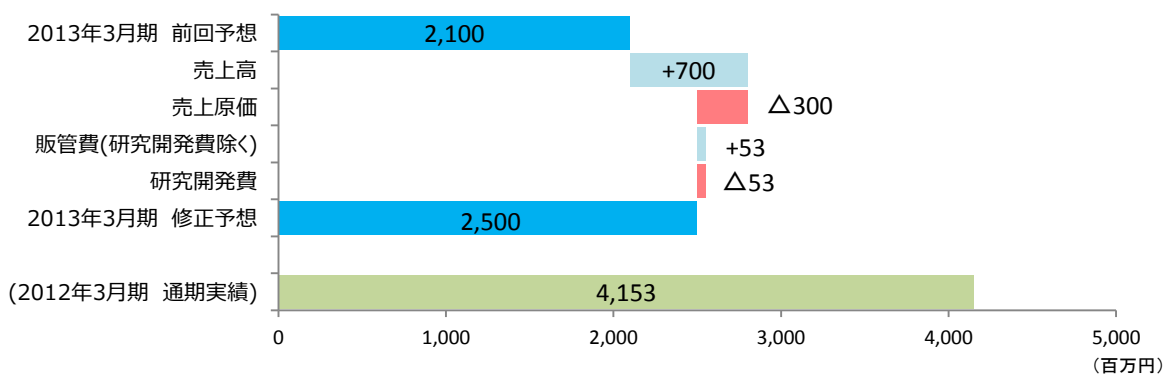
**売上高 (52,600百万円 対前回予想+700百万円)**



**主な増減要因**

腎・透析領域	レミッチカプセル	+490百万円
	ケイキサレート	+70百万円
その他	注射用フサン	+130百万円
※詳細はP10「② 製商品別・領域別売上高」を参照		

**営業利益 (2,500百万円 対前回予想+400百万円)**



**主な増減要因**

特になし

**経常利益 (2,700百万円 対前回予想+500百万円)**

特記事項：特になし

**当期純利益 (1,500百万円 対前回予想+300百万円)**

特記事項：特になし

② 製商品別・領域別売上高

a. 製商品別売上高

(単位:百万円)	2013年3月期 前回予想 A	2013年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2012年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	51,680	52,380	700	48,489	3,890	8.0
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]	11,710	12,200	490	9,735	2,464	25.3
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕〔HIV領域〕	11,790	11,790	0	9,945	1,844	18.5
アンテベート ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	6,780	6,690	△90	6,584	105	1.6
注射用フサン ※ 蛋白分解酵素阻害剤 [その他]	4,320	4,450	130	5,131	△681	△13.3
ユリノーム錠 ※ 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [その他]	2,810	2,830	20	3,238	△408	△12.6
ケイキサレート ※ 高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]	2,090	2,160	70	1,540	619	40.2
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 [皮膚疾患領域]	1,790	1,910	120	1,808	101	5.6
ビオスリー 活性生菌製剤〔整腸剤〕 [その他]	1,870	1,840	△30	1,712	127	7.4
ゼフナート 抗真菌薬 [皮膚疾患領域]	1,440	1,420	△20	1,403	16	1.2
ロコイド ※ 外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]	1,350	1,310	△40	1,344	△34	△2.6
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤 [その他]	1,310	1,290	△20	1,188	101	8.6
その他製商品	4,420	4,490	70	4,857	△367	△7.6

※ 自社品

b. 領域別売上高

(単位:百万円)	2013年3月期 前回予想 A	2013年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2012年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	51,680	52,380	700	48,489	3,890	8.0
HIV領域 〔ツルバダ配合錠、その他HIV治療薬〕	12,230	12,240	10	10,474	1,765	16.9
腎・透析領域 〔レミッチカプセル、ケイキサレート〕	13,800	14,360	560	11,276	3,083	27.3
皮膚疾患領域 〔アンテベート、ドボネックス軟膏、ゼフナート、ロコイド〕	11,360	11,330	△30	11,139	190	1.7
その他 〔注射用フサン、ユリノーム錠、ビオスリー、マグセント、その他製商品〕	14,290	14,450	160	15,599	△1,149	△7.4

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2013年3月期 前回予想 A	2013年3月期 修正予想 B	修正額 (率) B-A	2012年3月期 通期実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	19,540	19,560	20	19,856	△296	△1.5
自社品比率 (%)	37.8	37.3	△0.5	41.0	△3.7	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2013年3月期 前回予想 A	2013年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2012年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	1,262	1,422	160	849	572	67.3
有形固定資産	1,105	1,262	157	613	648	105.9
無形固定資産	157	160	3	236	△76	△32.4

#### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に製造設備への投資

無形固定資産：主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2013年3月期 前回予想 A	2013年3月期 修正予想 B	修正額 B-A	2012年3月期 通期実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,060	1,061	1	1,194	△133	△11.2

### ⑤ 配当

	2013年3月期 前回予想 A	2013年3月期 修正予想 B	修正額 (率) B-A	2012年3月期 通期実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 ※ (円)	40	40	0	40	0	0.0
配当性向 (%)	94.3	75.5	△18.8	43.4	32.1	-

※ 2012年10月29日開催の取締役会において、2013年3月期の中間配当を1株当たり20円にて行う旨決議しております。

### 【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 訴訟の提起